当センターの事業報告

第46回食品産業優良企業等表彰式及び

令和6年度優良ふるさと食品中央コンクール表彰式の

開催について

去る3月10日、如水会館において「第46回食品産業優良企業等表彰」並びに「令和6年度優良ふるさと食品中央コンクール」の表彰式を開催しました。当日は、40社(名)の受賞者の他、都道府県や食産協、関係団体の方など110名を超える方が来場されました。表彰式では、農林水産省大臣官房 新事業・食品産業部の小林部長から、農林水産大臣賞、農林水産省官房長賞受賞者に表彰状を授与されました。次に食品産業センター会長賞受賞者に堀切会長から表彰状を授与されました。その後、片岡一橋大学名誉教授・高増日本女子大学名誉教授の両審査委員長から審査経過をご説明いただき、大商金山牧場の小野木代表取締役社長のすばらしい謝辞をいただきました。最後に皆で記念撮影をし、祝賀会で受賞の喜びを分かち合いました。受賞されたみなさまの地元や業界の報道機関も多数取材のため来場されておりました。

なお、食品産業センターのホームページに表彰事業並びに受賞者・受賞製品の概要を掲載しております。下記のQRコードからアクセスできます。

今年も「第47回食品産業優良企業等表彰」並びに「令和7年度優良ふるさと食品中央コンクール」の開催致します、7月上旬から応募受付の予定ですので、ご関心ある方は奮ってご応募ください。

優良企業等表彰受賞概要



ふるさと食品中央コンクール受賞概要





第46回食品産業優良企業等表彰式



令和6年度優良ふるさと食品中央コンクール表彰式

第46回食品産業優良企業等表彰事業 受賞者一覧

	件	農林水産大臣賞受賞者				農林水産省大臣官房長賞受賞者				(一財) 食品産業センター会長賞受賞者			
部門			名称 (氏名)	業種 (種類)	所在地		名称 (氏名)	業種 (種類)	所在地		名称 (氏名)	業種 (種類)	所在地
【食品産業部門】 〈農商工連携推進タイプ〉	4	1	横山製粉株式会社	製粉業 (小麦粉・そば粉・ブレミックス粉の製造販売、厨房機器・器具の販売、業務用食品資材の販売)	北海道					1	山の季食彩工業株式会社	山菜加工食品・惣菜等の製造 販売	富山県
		2	株式会社大商金山牧場	食肉加工販売	山形県					2	吉本興業株式会社	TV・ラジオ、ビデオ、CM、 その他映像ソフトの企画、制 作および販売 劇場運営・イベント事業/広告 事業/ショウビジネスなど	大阪府
〈経営革新タイプ〉 ①経営の近代化及び合理化、生 産性向上	1	1	杉本 豐繁	食肉・食肉製品等の製造・加 工・販売業	愛知県								
②食品の製造・加工に関する新 技術の開発	2					1	栗原 守	食肉加工業、食肉卸売・小売業	群馬県				
						2	株式会社新進	漬物、調味料、小麦でん粉、 小麦たん白食品、ポテト等チ ルド製品および各種食料品の 製造販売	東京都				
③栄養・健康に配慮した食品	1	1	株式会社ニッスイ	食品製造業	東京都								
【食品流通部門】													
①食品卸売業の発展と食品の流 通の合理化	3	1	三木 譲	水産物卸売業	福井県								
		2	早山 豊	水産物仲卸売業	東京都								
		3	中内 良一	青果物卸売業	大阪府								
②食品小売業の発展と食品の流 通の合理化	1	1	泉学	食品小売店主催のボランタリー チェーンを組織する協同組合連合 会	徳島県								
【CSR部門】													
	1	1	テーブルマーク株式会社	冷凍食品、その他食料品の製 造・販売	東京都								
【環境部門】													
〈容器包装リサイクル推進タイ ブ〉	2									1	カンロ株式会社	菓子、食品の製造および販売 (カンロ飴、ピュレグミ等)	東京都
										2	カルビー株式会社	菓子・食品の製造・販売	東京都
合 計	15	9			•	2				4			•

令和6年度優良ふるさと食品中央コンクール受賞出品財・製造者名一覧

受賞名	出品財名	製造者名	受賞名	出品財名	製造者名
農林水産大臣賞 (新製品開発部門)	鎌倉の農家が土づくりからこだわったドレッシング・ソース	盛田ファーム		喜八コーラRELAX(リラックス)シロップタイプ	株式会社 喜八食品
農林水産大臣賞 (国産農林産品利用部門)	葛のとろみポタージュ (3種) 宇陀金ごぼう、きくい も、ほうれん草	株式会社 井上天極堂		長久梅 梅エキス 酵素入り	中野BC株式会社
農林水産大臣賞 (国産畜水産品利用部門)	極上甘エビ幸福濃厚ビスクソース	株式会社 福丸ふれっしゅ	(一財) 食品産業センター 会長賞	淡路島レモンチェッロ	平岡農園
農林水産省大臣官房長賞(新製品開発部門)	ほたて貝焼きみそ	成邦商事株式会社	日	にゃんもにゃにゃ猫のもなかのお味噌汁	有限会社 小西本店
	大槌鹿の寒こうじ漬け MOMIJI株式会社			和風玉ねぎドレッシング	株式会社 FKKファーム
	すいか尾花沢ジュース	味高フーズ株式会社		山猫瓶詰研究所 季節のピクルス	株式会社下園薩男商店
	100%恋蜜ジュース 西ヶ谷蜜柑農園			ビスケッピ	合同会社 BUONA CASA
農林水産省大臣官房長賞(国産農林産品利用部門)	京都産 冷凍焼き芋	株式会社 健康ファーム	(一財) 食品産業センター 会長賞	高嶺ルビーはちみつ	タカノ株式会社
	星空マイメン	株式会社エミリンクジャパン 国産農林産品利用部門		西岡さんの苺シェイクの素	有限会社西岡産業
農林水産省大臣官房長賞(国産畜水産品利用部門)	伊吹のむヨーグルト 有限会社ミルクファーム伊			焼き栗きんとん	河野フーズ (洋菓子工房プチパリ)
	骨のあるヤツ!多高のハマチゃん!	株式会社おがた食研		松川浦かけるあおさ	株式会社マルリフーズ
	八代産 野生鹿肉のケーゼ(型焼きソーセージ)	カネムマンソーセージ	(一財) 食品産業センター 会長賞 (国産畜水産品利用部門)	岡崎おうはん焼鳥缶(しょうゆだれ味)	株式会社太田商店
			— (радентульны тульны т	河内鴨もも肉・ささみのアヒージョ、塩糀漬けアヒー ジョ	有限会社 ツムラ本店

1. 第46回食品産業優良企業等表彰概要

1-1. 趣旨

本表彰は、昭和54年(1979年)、食品産業の発展と国民食生活の向上に寄与することを目的に始まり、以来、食品製造業及び食品流通業において、顕著な功績をあげた企業、団体、個人及び高度の技術・技能の保持者を広く顕彰する。

1-2. 実施

主催:一般財団法人 食品産業センター

公益財団法人 食品等流通合理化促進機構

後援:農林水産省

1-3. 表彰部門及び表彰点数

(1)表彰部門

[1] 食品産業部門

<農商工連携推進タイプ> 地域の農林水産物の生産者との連携等による功績

<経営革新タイプ>

経営の近代化、新技術・新製品開発、栄養・健康に配慮した食品の開発・普及 等による功績

[2] 食品流通部門

食品卸売業・小売業の発展と食品の流通の合理化等による功績

[3] CSR部門

食品製造業の CSR の推進等による功績

[4] 環境部門

<食品リサイクル推進タイプ> 食品循環資源の再生利用の促進等による功績

<容器包装リサイクル推進タイプ>

容器包装の排出抑制、再使用及び再生使用等の功績

<省エネ等環境対策推進タイプ>

省エネ・省力化技術の推進又は環境の保全等による功績

[5] 団体部門

団体運営が特に優秀なもの、し界の発展等への功績

[6] マイスター部門

食品の製造・加工等において高度の技術・技能を有する者

(2) 表彰点数

表彰部門	農林水産大臣賞	農林水産省 大臣官房長賞	食品産業 センター会長賞	計
食品産業部門	4	2	2	8
食品流通部門	4	-	-	4
C S R 部門	1	-	-	1
環境部門	-	-	2	2
計	9	2	4	1 5

(注) 令和6年12月19日開催の審査委員会(委員長 片岡 寛 一橋大学名誉教授) の審査を経て、決定したものである。

2. 令和6年度優良ふるさと食品中央コンクールについて

2-1. 趣旨

全国各地で生産されている地域色豊かな「ふるさと食品」の中で、製造・加工に関する新技術等による品質の向上及び地域で生産される農林水産物の加工利用の面で特に優れた成果をあげた食品に対して、農林水産大臣賞、農林水産省大臣官房長賞及び一般財団法人食品産業センター会長賞を授与する。

2-2. 実施

主催:一般財団法人 食品産業センター

後援:農林水産省

2-3. 表彰部門及び表彰点数

(1)表彰部門

[1] 新技術開発部門

ふるさと食品の製造・加工に関する新技術の開発又は実用化を行ったもの

[2] 新製品開発部門

ふるさと食品について新製品の開発を行い製造・加工を行ったもの

[3] 国産農林産品利用部門

ふるさと食品の製造・加工を通じて、農産物や林産物の原料調達等で地域の発展・活性化に功績のあったもの

[4] 国産畜水産品利用部門

ふるさと食品の製造・加工を通じて、畜産物や水産物の原料調達等で地域の発展・活性化に功績のあったもの

(2)表彰点数

表彰部門	新技術開発 部門	新製品開発 部門	国産農林産品 利用部門	国産畜水産品 利用部門	計
農林水産大臣賞	_	1	1	1	3
農林水産省 大臣官房長賞	_	3	3	3	9
食品産業センター 会長賞	_	6	4	3	1 3
計	_	1 0	8	7	2 5

(注) 令和6年11月7日開催の審査委員会(委員長 高増雅子 日本女子大学名誉教 授)の審査を経て、決定したものである。